

Rotary MAEBASHI WEEKLY REPORT

2018-2019 | インスピレーションになろう *Be the Inspiration*

楽しいロータリークラブを実現しよう

2019. 5. 7 (火) 第3134回 例会報告

例会日…火曜日 (12:10) ~群馬銀行本店

(第1回 昭和28年9月8日創立)

ホームページ URL <http://www.maebashi-rc.jp/>

電子メールアドレス office@maebashi-rc.gr.jp maebashi@rid2840.jp

会 長…宮崎 瑞穂

幹 事…温井 尚久

クラブ会報委員長…江原 友樹

編 集 者…奥野 和義

点 鐘 宮崎会長

ロータリーソング 「奉仕の理想」

司 会 伊藤副幹事

記念品贈呈 望月副会長

■誕生祝

横田 幸雄、松葉 晴彦、
金井 政人、山田 美光、
狩野 明、石塚 春彦、
石原秀一郎、高橋 秀実、
神山 光永、西川 定男、
釜谷 邦夫、江原 友樹、
吉田 典之

■結婚祝

橋本 実、内山 清一、藤野 隆司、武井 和夫、
角田 尚夫、太田 郁朗、樋口 正弘、前田 修、
坂内 光政、嶋田 大和、小林 哲、薊 準、
本田 博己、山下 哲弘、熊木 義隆、清水 宣彦、
伊藤 大介、山崎 勝由、関口 俊雄、曾我 孝之、三輪 斉

■皆勤賞

温井 尚久 (満5年)、
三輪 斉 (満7年)、
星崎 功明 (満18年)、
内山 清一 (満29年)

会長報告 宮崎会長

皆さん今日は。本日の例会は新元号令和になって最初の記念になる例会です。

今日は5月の最初の例会ですので先立って理事会が開かれましたのでまずその報告からいたします。理事会ではまず5、6月の行事予定が審議されました。今年度もあと8回の例会を残すまでになりましたが概ね例年通りのスケジュールで異論なく了承されました。次々回の5月21日は前橋公園の清掃と早朝例会が行われます。6月の今年度の最終例会はさよなら例会で夜間例会となります。その他の行事予定では新年度に向けてのクラブ研修会・協議会などいくつか新年度に向けての動きが着々と進んで、既に新年度に移りつつあるといえます。

次の主な審議事項としては会員の退会です。坂内光政会員とSMBC 日興証券酒井基博会員の退会が審議され承認されました。坂内会員は昭和62年10月13日に入会され、2008-19年度には会長を務められるなど活躍されました。6月のさよなら例会にてご挨拶を頂きたいと思っております。また、退会された会員の交代会員として3名の入会の審議が行われました。まず第一生命保険の平田会員に代わり「野田 強」さん、日本生命保険の伊藤会員の後任の「林徹郎」さん、SMBC 日興証券の酒井会員の後任の「北野義博」さんの3名です。全員とも会員選考委員会、会員増強委



員会で審議され、理事会でも承認されました。

新入会は例会において全会員の承認が必要ですのでお諮りします。この3名の方の入会をご承認いただけますでしょうか。賛成の方は拍手をお願いします。(拍手)

有り難うございました。全員入会が認められましたので3名の方には5月28日に入会のご挨拶をいただきます。

他の事項としては地区、他クラブとしては5月に沼田RCの60周年記念式典、前橋西クラブの55周年記念行事としてのシンポジウムなどが予定されています。また既に終わった行事としては4月24日に新年度理事による準備理事会が開催され、菊川エレクトから方針や目標が提示されました。これまで行われていなかった会で菊川エレクトの並々ならぬ意欲が示されました。

会長の時間 宮崎会長

次は会長の時間です。10連休の長い休みが終わり、令和になりましたが、今回の改元は前天皇の逝去に伴うものではなかったので、おめでたいこととして祝賀ムードが一杯でした。平成の時代は自然災害が頻発しましたが、我が国では近年では初めて外国との戦争や深刻な紛争も無く平和な時代でした。上皇は憲法の理念にそって国民統合の象徴としての役割を全うされ、国民の敬愛と信頼を受けられたのは美智子妃殿下お二人のお人柄によるものでしょうし、外交でも政治の前面には出られませんが諸外国に平和と友好の気持ちを示され我が国の外交に大きな功績を残されたと思います。今上天皇に対する期待は全部の人が平和を挙げていました。私も令和の時代も平和が続いてほしいと切に願わざるをえません。天皇の生前退位とすることで天皇制の問題が多くマスコミで取り上げられていました。女系天皇や女性宮家の創設などが課題ですが、皇位継承は男子に限られるわけですが、今回知ったのは過去400年の天皇で正室の嫡子が継いだのはたった3人でそれも2名は昭和天皇と今の上皇だったということと皇位継承時の年齢が今上天皇の59歳は歴代でも2番目とすることでした。少子高齢化の問題は天皇家も変わりなく世の中が大きく変わっていく時代で天皇制も変わらざるをえないと思いますが、伝統を重んじる人からの反対も強いようです。この議論は未だに夫婦別姓も認められていない日本ではなかなか難しいと思いますがしっかりと議論してほしいと思います。

さて私の会長の時間も私の話は後2、3回と思います。私はたいした趣味や文才も無いので仕事柄、医学と言うより医療についてお話ししてきました。医療については医師の常識と患者さんの常識とはかなりかけ離れて居ると感じる方も多いと思っております。それでそのギャップを埋めるようなお話しをしたいと思っておりましたがなかなか難しくうまくお話しできませんでした。

今日は私が医師になってほぼ半世紀が経ちましたが、医療でもその間、考え方が大きく変わってきたことが沢山有るので身近なものについてお話ししたいと思います。

まずは傷の処置に関することです。半世紀前は感染を防ぐた

め傷は良く薬で消毒してなるべく乾かすのが良いという考えでした。それで傷が出来るオキシフルやマーキュロで消毒してガーゼを当てて、それを毎日変えていました。しかしこの考えは今も否定され消毒は却って自己治癒力を損なうとされ、きれいに洗って、湿潤した状態を保つというように変わってきました。包帯交換も感染が起きず炎症がない限り行いません。頭の傷も縫ってしまえばその日から洗うことも出来ます。昔は褥瘡をお日様に向けて乾かしたりしたこともあり、今考えると何をしていたのかと思います。

また洗う水にしても昔は煮沸した水や蒸留水が清潔とされ、手術前の手洗いも高額な装置でそのような水を作っていました。が清潔な水でも貯まっていると蛇口などに菌が繁殖してしまうので今はむしろ良く流れている水道水をそのまま使って良いと変わってきています。

手術についても以前は、体毛は不潔ということで、手術前は毛をそるのが常識でした。頭の手術でも前日にきれいに頭髪を刈って、剃っていました。私もまだ若い医師の時に頭に小さな孔を開ける時に小さく剃毛することの許可を教授に求めて叱られたことがあります。そのときは結局許可が出て、感染も起こらなかったのが今はそのようになっていきます。今は皮膚を切るときに邪魔になる部分だけを直前に毛をそるようになっていきます。毛髪を剃ると小さな細かな傷が出来て浸出液が出てそこで菌が非常に繁殖してしまい翌日には見えないけれど術野にたくさん病原菌が増えるといわれています。

また手術室やICUに入るときは菌を持ちこまないように見学者も下着から着替えることになっていました。しかし今は普通の白衣の服装でも構わないと変わりました。良く考えれば当時からICUの中は多剤耐性菌による肺炎などが多く、そこに入るときに着替えるのは菌を持ちこまないようにというより持ち出さないためなのか？などと冗談にICUの医師をからかったことがあります。結局全国がそのようにしていたので慣習的にしていたわけですね。

次は抗生物質の使い方です。昔は手術をするときに脳の場合感染が怖いので感染を起こさないように、予防的に2種類くらいの抗生物質を点滴で1週間位使いました。菌は手術時に入るのでこれを防ぐために今は手術の直前に1回投与し、手術が長引いたら数時間後また追加するようになり変わりました。さらに抗生剤の予防投与は耐性菌を増やすのでなるべく使わない方が良いと変わってきました。

それから点滴です。通常の点滴は水分や電解質時にカリウムの投与に使うわけですが、昔はそれに数種類のビタミン剤や脳外科の場合は意識障害治療剤と称する物を添加していました。これもほとんど意味がなく今はほとんどの病院で使っていません。

また大きく変わったのは入院期間です。昔は外科手術などでは手術後食事をおかゆから3分粥、5分粥、全粥などと徐々に上げて退院まで結局一ヶ月くらいかかるのが常識でした。これには診療報酬によるインセンティブも有りますが、今は安静より、早く日常生活に戻す方が、回復が良いことが分かり現在では数日で退院となります。

その他にも今考えれば何だったのかと思うことが多々あります。だから医療では絶対これが良いと言うことはないと思います。私の知識も古いので此処にいる現役の医師の会員からは古いと言われているのかもしれませんが。

こう考えると正しいことは何なのか分からなくなるので、現状で正しいと思われることに従うしか出来ません。

しかしこれらを変えるときには大きな抵抗がありました。これまで常識で、思い込んでいたことを変えるときには非常に大きな抵抗が生じます。

結局それは自分を否定されるように感じるのでしょうか。さらに加えてその結果不都合なことが起こることを恐れます。病院では最終的に現場ではなく病院で責任を取るからといって従ってもらうことも多々ありました。これも医療界だけのことではないでしょうが。

幹事報告 温井幹事

- 1、5月のロータリーレートは1ドル112円です。
- 2、次回の例会は青少年奉仕委員会 金井委員長の委員長卓話です。場所は群馬銀行例会会場です。
- 3、本日の例会からクールビズとなります。よろしくお願いします。

出席報告 出席委員会

会員数：118名

出席者 85名
欠席者 33名

本日出席率：74.56%

前々回訂正：81.90%

二コニコBOX報告

■増田 晋一…今年もたくさんのクラブ

会員皆様の御協力と御理解で第3回キングオブピッツァが5月11日(土)12日(日)前橋中央イベント広場で開催されます。前橋のこれからのものづくり、人づくり、観光の柱になる様実行委員会でのみりあるイベントをするためにも、当日、たくさんの御来場をおまちしております。

■平方 宏…新しい時代を迎え、世の中は祝賀ムードです。私共は、祝いの心と共に、身をひきしめて、これまで同様、丹精こめて仕事をし、それを社会への奉仕としていこうと思います。

■佐藤 美恵…くじ引きもビンゴも当たらない私ですが、ステキキ弁当当たりました。運氣上がりそうです。

■角田 尚夫…令和元年5月3日、結婚記念日にお花をいただきました。今回で40回目のルビー婚です。ルビーは妻に贈れないので、いただいたお花のルビー色で勤弁してもらいました。どうもありがとうございました。

■菊川 善明…4/29結婚祝のすばらしいお花が届きました。毎年、家内と猫が楽しみにしております。

■樋口 正弘…5月5日、令和最初の結婚記念日に素敵なお花をいただき、ありがとうございました。感激いたしました！

■田部井俊勝…結婚記念日に大変美しいお花をありがとうございました。

■高橋 善明…結婚記念日のお花ありがとうございました。ポーツと生きていて忘れていました。しかられました。

■内山 清一…いよいよ令和の時代がスタートしました。たまたま偶然ですが、私の妹の名前は令子、姉は和子で、令和の子です。また、私の妻の名前は雅子で、雅子妃殿下と同じ名前です。なんとなく、不思議なめぐりあわせで驚いています。それから、5月2日に、結婚祝いのきれいなお花を届けて頂きまして、ありがとうございました。

■藤野 隆司…GW中に32回目の結婚記念日を迎え、素晴らしいお花を頂き感謝致します。昭和の終わりに結婚し、平成を駆け抜け、令和まで何とか持ちました。これからは、より良い夫婦の関係や家族のあり方を考え、自ら進化していきたいと決意している所です。

■栗原 公夫…結婚記念日にお花をいただきありがとうございました。

■読み人知らず…連休日に令和になりました。旅行には行かず、観光もせず、買物にも行かず、夜遊びもせず、ゴルフもせず、孫とたわむれ、妻とケンカをし、平凡な10日間に感謝して。大ウツキの英人

ロータリーの友報告

片桐委員長



※クラブ会報は会員の敬称は略させていただきます